



「健康コラム」

病気と予防のお話し ～JCHO 船橋中央病院から～

第9回 月経困難症（生理痛・生理時の不快感）

婦人科

今回は、月経困難症（生理痛・生理時の不快感）のお話しです。

月経困難症とは、ひどい生理痛や生理中の不快感をいいます。月経中におこる、腹痛・腰痛・頭痛・疲労感など身体の症状の他に、イライラ・抑うつ・焦り感などの精神症状のことを言います。月経を迎えた小学生から、閉経を迎える前までの中年女性のうち、約半数以上が悩まされています。

成人女性では、子宮内膜症という病気が原因になるケースがみられます。子宮内膜症は、子宮以外の臓器（特に卵巣・骨盤内臓器）に発症し、炎症・癒着をきたし、月経のたびに進行していきます。手術が必要となるケースや、将来的に不妊症の原因になることもあります。小学生・中学生・高校生・性交渉未経験の方は、月経痛がひどくても我慢して、救急車で搬送されるケースも見受けられます。10代のころから、月経困難症のひどいケースは、将来的に、子宮内膜症を発症するリスクが高いということが、明らかになってきております。月経は、痛いのが当たりまえ・情緒不安定が当たりまえという認識で、我慢しないでください。毎月々、それに耐えている時間や精神的肉体的疲労感は女性にとって、実に大きな損失ではないでしょうか？ 月経中、学校または会社を休んでしまうほどの痛み・イライラ・落ち込みのある方は、ぜひ一度、婦人科を受診し、相談してみてください。